

事業概要

公益事業 1 狂犬病予防事業

2019年度 集合注射実績（期間は4月～5月です）

支部 年度	桑員	三泗※	鈴鹿	津	松阪多気	伊勢志摩	伊賀	紀州	総計
31 (令和元)	1,326	405	1,982	1,422	2,259	1,816	1,333	1,207	11,750
30	1,457	353	2,072	1,616	2,498	2,252	1,493	1,287	13,028
差異	-131	52	-90	-194	-239	-436	-160	-80	-1,278

集合注射の昨年度との比較は9.81%減少でした。

2019（平成31）年度は朝日町、川越町、菟野町で実施、四日市市は実施していません。

また、平成30年度は朝日町、菟野町で実施、川越町、四日市市は実施していません。

2019年度 個別注射実績（期間は4月～12月です。三重県資料：平成27年度から会では個別注射実績を調査していません。）

支部 年度	桑員	三泗	鈴鹿	津	松阪多気	伊勢志摩	伊賀	紀州	総計
31 (令和元)	9,763	15,362	9,168	10,369	7,820	6,028	5,654	1,578	65,742
30	10,426	15,327	8,522	10,422	7,369	6,410	5,482	1,457	65,415
差異	-663	35	646	-53	451	-382	172	121	327

個別注射の昨年度との比較は0.50%増加でした。

- ・8月19日（月）三重県津庁舎において、紀北町、尾鷲市の担当者と狂犬病予防注射会議を開催しました。
- ・令和2年2月18日（火）三重県総合文化センター生涯学習センター棟において、令和元年度狂犬病予防及び動物愛護管理研修会を三重県と共催しました。（詳細は公3の公衆衛生部会に記載）

公益事業 2 動物愛護・救護等事業

（小動物部会）

1) 動物愛護啓発事業

①身体障がい者補助犬事業

令和元年度の身体障がい者補助犬募金活動では、会員動物病院等の協力により、総額は306,552円となりました。令和2年3月9日に募金贈呈式を予定していましたが、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、開催が中止となりました。令和2年3月12日（木）に社会福祉法人中部盲導犬協会へ250,000円、特定非営利法人三重補助犬普及協会へ56,552円をそれぞれ送金しました。

また、県内補助犬に会負担で狂犬病予防注射を実施しました。（令和元年度実績）

件数	会の助成額：円（1頭あたり）	金額
7	2,650	18,550

②5月21日、三重県動物愛護推進センターあすまいるへマイクロチップ100本を寄贈しました。

③動物愛護週間期間中の事業（9月20日～26日）

- ・9月21日（土）「動物愛護 DAY in モクモク」

伊賀の里モクモク手づくりファームにおいて開催され後援しました。動物愛護教室、「動物のお医者さん」体験、動物たちへ「ありがとう」のメッセージカードづくり、ペットの名札づくり、手洗い実験

教室、動物愛護 DAY スタンプラリー、千羽鶴づくり等行われました。

・9月22日（日）松阪環境フェア

松阪農業公園ベルファームにおいて開催され、小山先生、高山先生、中西先生、野口先生、白米先生、初瀬先生、村田先生、山越先生、山添先生が参加しました。ブースでの「獣医さんのお仕事体験コーナー」では子どもさんを中心とした100組以上のご家族の方に、超音波や顕微鏡を利用した犬の病気の診断・体験をしてもらいました。（松阪多気支部）

・9月22日（日）動物愛護の絵ポスター表彰式

三重県動物愛護推進センター（あすまいる）において、三重県と共催し、永田会長が三重県獣医師会会長賞受賞者へ賞状及び副賞を贈呈しました。

・9月23日（月・祝）第5回長寿犬猫表彰式

三重県動物愛護推進センター（あすまいる）において開催しました。主催側の参加者は永田会長、奥田副会長兼小動物部会長、小畑専務理事、辻副部会長、岩城多佳子先生、岡田謙吾先生、久米徹先生、小林真人先生、佐々木直先生、佐藤宏樹先生、眞田敦司先生、白井茂雄先生、西出修先生、西村和也先生、西山治生先生、萩野俊之先生、白米満陽先生、橋爪俊裕先生、初瀬繁樹先生、原一弥先生、村田章佳先生、山添馨先生、山本絵美先生、事務局からは職員1名、計24名でした。応募は50匹（大型犬8匹、中型犬10匹、小型犬17匹、猫15匹）、入賞は23匹（大型犬5匹、中型犬6匹、小型犬6匹、猫6匹）でした。会長からペットの写真入り表彰状、アクリルスタンド（優秀長寿賞）が贈呈されました。

・動物愛護週間啓発のため、布製バッグ200枚をあすまいるへ寄贈しました。

・環境省から送付された動物愛護週間のポスターを小動物部会員へ病院での掲示依頼をしました。

2) 災害時の動物救護活動事業

・9月29日（日）令和元年度鈴鹿市総合防災訓練

三重県消防学校において開催され、伊藤雄洋先生、今西貴久先生、原一弥先生、東山智哉先生、水谷到先生が参加しました。ペットとの避難方法、防災グッズ・避難準備・マイクロチップ等の啓発、児童を対象としたスタンプラリーを行いました。市長をはじめ、警察、消防、自衛隊などや一般市民、あわせて1,000名ほどの参加となりました。

・11月10日（日）令和元年度津市総合防災訓練

津市白山総合文化センター他において開催され、佐藤宏樹支部長、岩城多佳子先生が参加しました。津支部として、展示ブースを利用し、ペットとの同行避難の推奨ならびにその際に必要なグッズ等の案内及び展示、マイクロチップについて、特に災害時での有用性についての説明、ペット用ネームプレートの作成体験を行いました。

・12月22日（日）安心・安全フェスタ

まつさかクラギ文化ホールにおいて開催され、小山先生、高山先生、中西先生、野口先生、白米先生、初瀬先生、村田先生、山越先生、山添先生が参加しました。「体験しよう！身近に安全・安心」をテーマにマイクロチップの啓蒙と33家族にマイクロチップ無料装着券を配布しました。

・2月7日（金）に桑員支部と東員町が、2月20日（木）に桑員支部といなべ市が災害時動物救護活動に関する協定を締結しました。令和元年度は関係支部と関係者の尽力の結果、1市1町と災害時動物救護活動に関する協定を締結し、これまでに、25市町（14市、11町）と協定を締結しました。

3) 受託事業

I 三重県からの受託事業（あすまいる委託事業（譲渡犬及び譲渡猫の不妊・去勢手術等適正飼養推進事業／飼い主のいない猫の不妊・去勢手術事業）／負傷動物保護事業）

※傷病野生鳥獣救護事業は今年度から委託契約はしていません。

・あすまいる委託事業

5月13日付けで三重県と委託契約を交わしました。（平成30年度から開始した事業です）

①譲渡犬及び譲渡猫の不妊・去勢手術等適正飼養推進事業

事業1 譲渡後動物の不妊・去勢手術

事業2 譲渡対象動物の不妊・去勢手術

②飼い主のいない猫の不妊・去勢手術事業

事業3-1 あすまいるにおける不妊・去勢手術

あすまいるにおける手術は8/21(水)、9/12(木)、11/7(木)、12/18(水)、1/22(水)、2/27(木)の6回、追加手術は9/11(水)、10/24(木)、11/6(水)、12/4(水)、1/29(水)、2/26(水)、3/12(木)の7回、計13回実施されました。

事業3-2 協力動物病院における不妊・去勢手術

不妊・去勢手術実績									
事業		種類	オス	メス	計	会員への送金額	事務局	三重県への請求額	
譲渡後	1	犬	7	12	19	200,000	685,000	885,000	
		猫	78	80	156				
譲渡前	2	犬	25	29	54	252,000	588,000	840,000	
		猫	0	1	1				
飼い主のいない猫	あすまいるで	3-1	猫	18	188	206	496,000	412,000	908,000
	動物病院で	3-2	猫	102	178	280	1,196,000	0	1,196,000
合			計			2,144,000	1,685,000	3,829,000	

・負傷動物保護事業

診療費が未収の病院へ助成しました。（令和元年度実績）

負傷動物診療実績				
種類	報告件数	領収済件数	未収件数	助成金額：円
犬	3	2	1	12,750
猫	3	0	3	27,920
合計	6	2	4	40,670

II 日本獣医師会からの受託事業

・マイクロチップ登録代行事務事業

（令和元年度実績）

マイクロチップ登録代行事務実績			
件数	病院からの送金額	事務局手数料	日本獣医師会への送金額
294	235,200	30,492	204,708

公益事業3 獣医療・学術研修事業

1) 畜産家畜衛生・産業動物臨床部会

- ・8月1日(木)三重県総合文化センターにおいて、高病原性鳥インフルエンザ防疫講習会を開催しました。参加者は187名、うち会員は15名でした。内容は次のとおりです。
内容 ①講演「高病原性鳥インフルエンザの現状と今後の課題」
講師 迫田 義博 先生(北海道大学大学院獣医学研究院微生物学教室)
②防疫体制について
③埋却作業について
- ・10月15日、国において、豚コレラに関する特定家畜伝染病防疫指針が一部改定され、飼養豚への予防的ワクチン接種の推奨地域に三重県が選定されました。これにより、飼養豚等(愛玩豚等を含む)への予防的ワクチン接種を実施するため、三重県農林水産部からの協力依頼を受け、家畜伝染病予防法第53条に基づき、三重県家畜防疫員(特別職非常勤嘱託員)として協力しました。

2) 小動物部会

- ・6月23日(日)津市市民活動センターにおいて、第1回小動物部会講習会を開催しました。参加者は28名、うち会員は19名でした。内容は次のとおりです。
講演 獣医療のクレーム事例とその対策
講師 田村勇人先生(弁護士 弁護士法人フラクタル法律事務所、東京都獣医師会顧問弁護士)
- ・11月28日(木)松阪華王殿において、松阪多気支部開催の研修会「里山の動物と狩猟」を開催しました。参加者は松阪多気支部獣医師会員約20名と獣医師会員外の方、数名でした。
- ・1月19日(日)津南防災コミュニティセンターにおいて、第2回小動物部会講習会を開催しました。参加者は37名、うち会員は26名でした。内容は次のとおりです。
講演 外耳炎を一頭でも多く治すための知識と治療
講師 村山信雄先生(犬と猫の皮膚科)

3) 公衆衛生部会(狂犬病予防委員会)

- ・令和2年2月18日(火)三重県総合文化センター生涯学習センター棟において、令和元年度狂犬病及び動物愛護管理研修会を三重県と共催しました。
参加者は60名、うち会員は12名でした。内容は次のとおりです。
① 講演 「ノラ猫トラブルの減らし方」
講師 石森信雄 氏(地域猫活動アドバイザー)
② 三重県における動物愛護管理の取り組み等について
ア 飼い主のいない猫及び譲渡犬の不妊・去勢手術事業について (三重県動物愛護推進センター)
イ ペット防災について (三重県動物愛護推進センター)
ウ 動物の愛護及び管理に関する法律の改正にかかる動向について (三重県医療保健部食品安全課)
エ 市町における狂犬病予防注射接種の状況について (三重県医療保健部食品安全課)

4) 部会共通

- ・8月25日(日)平成31年度獣医学術近畿地区学会第2回幹事会・運営委員会合同会議
大阪府立大学中百舌鳥キャンパスにおいて開催され、3学会の幹事を代表して橋爪俊裕先生が出席しました。
- ・10月6日(日)令和元年度獣医学術近畿地区学会
大阪府立大学中百舌鳥キャンパスにおいて開催されました。参加者は285名、うち、三重県獣医師会会員の参加者は16名でした。会員の発表演題数は小動物2題、公衆衛生3題の計5題でした。地区学会における奨励研究者褒賞に中野康弘氏・辻勝彦氏(小動物獣医学会)、楠原一氏・山崎翔気氏(獣医公衆衛